



ホテル日航アリビラ

ヨミタンリゾート沖縄

nikko hotels international

PRESS RELEASE

No.10-15
2010年2月4日

CO²排出を年間1,500トン削減し沖縄県内のホテル初 「国内クレジット制度」排出削減事業にアリビラが承認される

ホテル日航アリビラ(所在地:沖縄県中頭郡読谷村 総支配人:秋月清二 / 運営:JALホテルズ株式会社 所在地:東京都品川区 代表取締役社長:千代勝美)は、2010年1月18日に経済産業省・環境省・農林水産省が推進するCO²排出量を取引する国内クレジット制度の排出削減事業に、沖縄県内のホテルで初めて承認されました。

アリビラはエコフレンドリーリゾートとして開業時よりさまざまな活動を行ってまいりました。それらの環境活動の一環として、2009年3月に、重油をエネルギー源としていたホテル館内の空調熱源を、高効率インバーターボ冷凍機に変更しました。空調熱源の変更によって年間のCO²排出量1,910トンの78%にあたる約1,500トンが削減され、政府の第三者認証機関である国内クレジット認証委員会に排出削減事業として承認されました。2010年4月から4年間、CO²排出削減分を売却していく予定です。

国内クレジット制度とは、中小企業などが大企業などから技術やノウハウや資金などの提供を受け、共同でCO²の排出削減に取り組み、その削減分を売却する制度です。大企業などは、2008年に閣議決定された京都議定書目標達成計画に則して作成した自主行動計画などの目標達成のために、中小企業と共同で取り組んだCO²排出削減量を活用することができます。

(株式会社日本総合研究所・経済産業省 国内クレジット制度について <http://jcdm.jp>)



高効率インバーターボ冷凍機
施設管理課 課長 亀谷正則



国内クレジット制度
排出削減事業承認証

総支配人の秋月清二は
「アリビラは今後も、素晴らしい沖縄の自然に触れていただけるリゾートであるよう環境に配慮した施策を実施していきます。」と述べております。



ホテル日航アリビラは、沖縄本島の中でも特に歴史と文化を色濃く残す読谷(よみたん)村にあり、世界屈指の透明度を誇る慶良間(けらま)諸島を対岸に臨む2.3kmにおよぶ美しいビーチと自然景観を有し、沖縄の自然に溶け込むスペイン・シュコロニアル風の外観と潇洒なインテリア、ホスピタリティ溢れる上質なサービスを提供いたします。また、1994年の開業当初から環境に配慮した「エコフレンドリーリゾート」を目指し、様々な取り組みを行っています。

本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ

ホテル日航アリビラ - ヨミタンリゾート沖縄 -
〒904-0393 沖縄県中頭郡読谷村字儀間600
TEL 098-982-9117 / FAX 098-982-9150

セールス&マーケティング部 樋場(トヨバ)
e-mail : toyoba1521@alivila.co.jp
<http://www.alivila.co.jp>